

令和3年度秋田大学工学部編入学試験における
実施方法および入試日程の変更について

令和2年4月27日
秋田大学工学部

工学部の編入学試験において、新型コロナウイルスの感染拡大状況を踏まえ、募集要項の記載内容にかかわらず、実施方法および入試日程を以下のとおり変更します。

【推薦入試】

- ・ 5月25日(月) 13:30～実施の面接試験をオンライン実施に変更します(秋田大学へ集合する必要はありません)。 オンライン面接の具体的な実施方法については、出願受付期間後、志願者へ連絡します。

【一般入試・社会人特別入試】

- ・ 入試日程を延期します。延期後の新しい日程は、詳細が決まり次第、秋田大学工学部 web サイトでお知らせします。
- ・ 令和2年3月、4月、5月の TOEIC®テストが中止されたことから、一般入試の入学
者選抜においては、TOEIC®テストのスコアを除いて合否判定を行います。出願書類
「TOEIC®Listening&Reading Test の Official Score Certificate (公式認定証) また
は TOEIC®Listening&Reading IP テストのスコアレポート (個人成績表) の原本」の
提出は不要です。

なお、今後の状況によっては更なる対応変更の可能性がありますので、秋田大学工学部 web サイト編入学試験情報 (<https://www.riko.akita-u.ac.jp/examination/hennyu/>) で定期的に最新の情報をご確認ください。

本件に関する問い合わせ先：
秋田大学入試課 (理工担当)
Tel : 018(889)2313
E-mail : nyushi@jimu.akita-u.ac.jp

令和3年度

編入学学生募集要項

日程等

項目	月 日
出願期間	推薦入試 令和2年5月11日(月)～5月15日(金)(必着)
	一般入試 令和2年6月8日(月)～6月12日(金)(必着)
	社会人特別入試
試験日	推薦入試 令和2年5月25日(月)
	一般入試 令和2年6月22日(月)
	社会人特別入試
合格発表	推薦入試 令和2年6月8日(月)
	一般入試 令和2年7月13日(月)
	社会人特別入試
入学手続	推薦入試 令和2年6月16日(火)～6月19日(金)(必着)
	一般入試 令和2年7月21日(火)～7月28日(火)(必着)
	社会人特別入試

秋田大学理工学部

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号

入学志願者の個人情報保護について

本学では提出された出願書類から志願者の個人情報を取得し、また、入学試験の実施により受験者の個人情報を取得しますが、これらの個人情報は、下記の目的で利用します。

【利用目的】

- 入学者選抜に関する業務（統計処理などの付随する業務を含む。）に利用します。
- 入学手続完了者にとっては、入学後の学籍管理、学習指導、学生支援関係業務および授業料徴収業務に利用します。

目 次

I	募集コースおよび募集人員	1
II	一般入試（学力検査等による入学者選抜）	2
	1. 募集コースおよび募集人員ならびに対応学科	2
	2. 出願資格	2
	3. 出願手続	3
	4. 選抜方法	5
	5. 学力検査および面接試問の日程等	6
	6. 受験上の注意事項	7
	7. 合格者の発表	7
	8. 編入学試験問題の公表について	7
III	推薦入試（推薦による入学者選抜）	8
	1. 募集コースおよび募集人員ならびに対応学科	8
	2. 出願資格	8
	3. 出願手続	8
	4. 選抜方法	10
	5. 面接試問の日程等	10
	6. 合格者の発表	10
	7. 学力検査の受験	10
IV	社会人特別入試（1年以上勤務経験のある者を対象とした入学者選抜）	11
	趣 旨	11
	1. 募集コースおよび募集人員	11
	2. 出願資格	11
	3. 出願手続	12
	4. 選抜方法	13
	5. 面接試問の日程等	13
	6. 合格者の発表	14
	7. 入学後の取り扱いについて	14

V 共通事項	15
1. 配慮を必要とする入学志願者の事前相談について	15
2. 入学手続	15

秋田大学理工学部コース案内	17
1. 募集するコースの構成	17
2. 学部および募集するコースのアドミッション・ポリシー	18
3. 理工学部4年間のカリキュラムの流れ	24
4. 課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	25

添付書類等

1. 編入学志願票（一般入試用，推薦入試用，社会人特別入試用）
2. 受験票・写真票（一般入試，推薦入試，社会人特別入試）
3. 検定料振替払込受付証明書貼付台紙・払込取扱票
4. 調査書
5. 推薦書
6. 志望理由書
7. 業務報告書
8. 受験上および修学上の配慮を必要とする入学志願者の事前相談書
9. 宛名票
10. 出願用封筒
11. 受験票等送付用封筒

秋 田 大 学 理 工 学 部

1910年（明治43年）に創立された秋田鉱山専門学校の伝統を引き継ぐ秋田大学工学資源学部は、平成26年度に“理学分野の基礎知識に裏打ちされたモノづくり・コトづくりのできる人材育成”を目的とする秋田大学理工学部生まれ変わり、同時に工学資源学部の資源学の分野は、新学部“国際資源学部”に移り新たに始動しました。

本学部では、高等専門学校・理工科系短期大学・高等学校の専攻科の課程卒業生および大学卒業生、大学中途退学者を対象とする3年次編入学入学者選抜と、企業等に1年以上勤務経験のある社会人を対象とする3年次編入学学生特別入試を実施します。

I 募集コースおよび募集人員

学 科	コ ー ス	一般入試	推薦入試	社会人特別入試
物 質 科 学 科	応 用 化 学 コ ー ス	4 名	－	若 干 名
	材 料 理 工 学 コ ー ス		若 干 名	
数 理 ・ 電 気 電 子 情 報 学 科	数 理 科 学 コ ー ス	4 名	－	若 干 名
	電 気 電 子 工 学 コ ー ス		若 干 名	
	人 間 情 報 工 学 コ ー ス		－	
シ ス テ ム デ ザ イ ン 工 学 科	機 械 工 学 コ ー ス	4 名	－	若 干 名
	土 木 環 境 工 学 コ ー ス		若 干 名	

合格者の編入学年次は、本学3年次となります。

Ⅱ 一般入試（学力検査等による入学者選抜）

1. 募集コースおよび募集人員ならびに対応学科

学 科	コース	募集人員	3年次編入学対応学科
物 質 科 学 科	応用化学コース	4名	物質工学科，材料工学科，工業化学科，化学工学科およびこれらの関連学科
	材料理工学コース		材料関連学科
数 理 ・ 電 気 電 子 情 報 学 科	数理科学コース	4名	理工系学科，または数理科学の応用を行う学科（理系文系は問わない）
	電気電子工学コース		電気工学科，電子工学科，電子制御工学科およびこれらの関連学科
	人間情報工学コース		情報工学科および関連学科
シ ス テ ム デ ザ イ ン 工 学 科	機械工学コース	4名	機械工学科および関連学科
	土木環境工学コース		土木工学科および関連学科

- 注) 1. 材料理工学コース志願者，数理科学コース志願者は，令和2年6月1日(月)までに必ず入試課へ問い合わせてください。
2. 材料理工学コース，数理科学コース以外のコースで関連学科と判断し難い場合には，令和2年6月1日(月)までに入試課へ問い合わせてください。
3. 「2. 出願資格」の(5)(6)(7)については，志望コースの関連学科であることを判断する必要がありますので，令和2年6月1日(月)までに入試課へ問い合わせてください。
4. 出身学校において修得した単位の全部，または一部を各コースに設定された授業科目とみなし，卒業要件の単位として認定しますが，認定される単位数によっては2年間で卒業できない場合があります。

2. 出 願 資 格

次の各号のいずれかに該当する者。

- (1) 高等専門学校を卒業した者および令和3年3月卒業見込みの者
- (2) 短期大学を卒業した者および令和3年3月卒業見込みの者
- (3) 大学を卒業した者および令和3年3月卒業見込みの者
- (4) 大学に2年以上在学し，64単位以上を修得した者および令和3年3月修得見込みの者（令和3年3月末に2年以上在学となる者を含む）
- (5) 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上で，かつ，課程の修了に必要な総授業時数が1,700時間以上であるもの）を修了した者および令和3年3月修了見込みの者（いずれも学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る）
- (6) 高等学校の専攻科の課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすもの）を修了した者および令和3年3月修了見込みの者（いずれも学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る）

- (7) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者および令和3年3月修了見込みの者

3. 出願手続

(1) 出願書類等

書 類 等	摘 要
①編入学志願票	<ul style="list-style-type: none"> ・本学部所定の〔一般入試用〕志願票に下記により記入してください。 ・受験番号：記入しないでください。 ・氏名（ふりがな）：楷書で記入し、ふりがなを付けてください。 ・生年月日等：生年月日を記入し、男・女いずれかを○で囲んでください。 ・出願資格：出願資格を記入してください。 ・志望コース：志望するコースを記入してください。 ・本人が諸通知を受ける場所 ：合格通知書等を受ける場所を記入してください。 ・上記以外の連絡先 ：保護者等の住所を記入してください。 ・履 歴 (学 歴)：高等学校・高等専門学校入学以降について記入してください。 (職 歴)：職歴がある場合は記入してください。
②受験票・写真票	<p>本学部所定の用紙に氏名、志望コースを記入し、写真（正面、上半身、脱帽で出願前3か月以内に撮影したもの）を貼ってください。</p>
③検 定 料 ・ 検定料振替払込受付 証明書貼付台紙	<p>検定料は30,000円です。</p> <p>本学所定の払込取扱票に志願者本人の氏名その他必要事項を記入し、原則として令和2年5月25日(月)以降出願前までにゆうちょ銀行または郵便局の窓口で振り込んでください。（振込手数料は負担願います）※ATM（現金自動預け払い機）は使用しないでください。</p> <p>振込の際に受領する「振替払込受付証明書」を台紙にしっかりと貼ってください。台紙には、氏名、志望コースを記入してください。</p> <p>出願手続完了後は、いかなる理由があっても既納の検定料は返還しません。</p> <p>ただし、検定料の払込後に出願しなかった場合は、検定料を返還しますので、原則として令和2年6月15日(月)から6月19日(金)までの間に、経理・調達課出納担当（TEL018-889-2234）に申し出てください。</p>
④TOEIC® Listening& Reading TestのOfficial Score Certificate（公式認定証） または TOEIC® Listening& Reading IPテストのスコアレポート（個人成績表） の原本	<p>テスト実施日が、2018年(平成30年)4月1日以降であるもの。</p> <p>出願期間までに提出が間に合わない場合は入試課へ問い合わせてください。</p> <p>受理した書類は、返還しません。また、願書提出後のスコアの追加は認めません。</p>

⑤調査書	<p>本学部所定の様式により，在学学（校）長が作成し厳封したもの。</p> <p>出願資格(4)該当者で履修中の科目がある場合は，履修中の科目に関する証明書を添付してください。</p> <p>「成績」および「席次」の欄については，前学年（既卒者の場合は最終学年）における「成績」（例：優，良，可）およびクラス等での「席次」（何人中何位）を記入してください。もし，「成績」および「席次」を算出していない場合は，その理由を記入してください。</p>
⑥卒業（見込）証明書	<p>出願資格（1）（2）（3）（5）（6）（7）該当者</p> <p>出願資格(5)該当者は専修学校入学前の学校の卒業証明書を提出してください。</p>
⑦在学（期間）証明書	<p>出願資格(4)該当者</p> <p>なお，在学証明書には入学年月日を記入してください。</p>
⑧専門士取得（見込）証明書 または修了（見込）証明書	<p>出願資格(5)該当者</p> <p>なお，修了（見込）証明書提出者は，出願資格の専修学校専門課程であることの証明書を添付してください。</p>
⑨高等学校等専攻科修了（見込）証明書	<p>出願資格(6)該当者</p> <p>修了または修了見込みの高等学校等が発行する，修業年限2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たしていることの証明書を添付してください。</p>
⑩宛名票	<p>本学部所定の用紙に所要事項を記入してください。</p>
⑪受験票等送付用封筒	<p>本学部所定の封筒に，受信場所（住所，氏名，郵便番号）を明記し，374円分の切手を必ず貼りつけてください。</p>
⑫在留資格が明記された住民票	<p>外国人で現に日本に在留している者は，市区町村長が発行する「在留資格が明記された住民票」を提出してください。</p>

【参考資料】高等学校等専攻科修了（見込）証明書作成例

<p>高等学校等専攻科修了証明書</p> <p>秋田大学長 殿</p> <p>本校は，学校教育法第58条の2に規定する高等学校の専攻科であり，下記の者は平成28年文部科学省告示第63号の基準を満たす課程を修了し，大学への編入学資格を有することを証明する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>氏名</p> <p>生年月日</p> <p style="text-align: right;">〇〇年〇〇月〇〇日 〇〇〇〇高等学校専攻科 学校長 〇〇 〇〇</p>
--

(2) 出願方法等

1) 出願書類等受付期間

令和2年6月8日(月)～6月12日(金)16時まで(必着)

2) 出願方法

出願書類等は一括し、本要項に添付の出願用封筒に入れて、原則として郵送により提出してください。

3) 出願書類等提出先および入試に関する照会先

秋田大学入試課

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号

電話：018-889-2313 E-mail：nyushi@jimu.akita-u.ac.jp

4) 出願にあたっての留意事項

①出願書類に不備がある場合は、これを受理しません。

②受理した出願書類等の返還および記載事項の変更は認めません。

4. 選抜方法

調査書、学力検査および面接試問の結果を総合して判定します。

◎学力検査実施科目

学 科	コ ー ス	学 力 検 査 科 目	
		一般教育科目等	専 門 教 育 科 目
物 質 科 学 科	応 用 化 学 コ ー ス	英語, 数学	面接(履修した専門教育科目の基礎の試問を含む)
	材 料 理 工 学 コ ー ス	英語, 数学	面接(材料理工学専門の試問を含む)
数 理 ・ 電 気 電 子 情 報 学 科	数 理 科 学 コ ー ス	英語, 数学	面接(数理科学専門の試問を含む)
	電 気 電 子 工 学 コ ー ス	英語, 数学	面接(電気電子工学の専門教育科目の基礎の試問を含む)
	人 間 情 報 工 学 コ ー ス	英語, 数学	面接(人間情報工学専門の試問を含む)
シ ス テ ム デ ザ イ ン 工 学 科	機 械 工 学 コ ー ス	英語, 数学	面接(機械工学の専門教育科目の基礎の試問を含む)
	土 木 環 境 工 学 コ ー ス	英語, 数学	面接(土木環境工学専門教育科目に関する基礎の試問を含む)

5. 学力検査および面接試問の日程等

(1) 学力検査および面接試問の日程

コース	日 時	令和2年6月22日(月)	
		10:45～11:45	13:00～
応用化学コース	数 学		面接試問
材料理工学コース			面接試問
数理科学コース			面接試問
電気電子工学コース			面接試問
人間情報工学コース			面接試問
機械工学コース			面接試問
土木環境工学コース			面接試問

英語は筆記試験を行わず、TOEIC®のスコアにより評価します。

(2) 試験場

秋田大学理工学部（秋田市手形学園町1番1号）

(3) 受験票の持参・提示

試験当日は、受験票を忘れずに持参し、試験時間中は机の上に置いてください。

受験票が6月18日(木)まで届いていない場合、入試課へ速やかに連絡してください。

6. 受験上の注意事項

- (1) 受験者は、試験開始時刻の15分前までに指定された試験室に入ってください。
- (2) 遅刻限度は、試験開始後10分までです。また、その場合でも試験時間の延長は認めません。
- (3) 試験室ではすべて試験監督者の指示に従ってください。

7. 合格者の発表

令和2年7月13日(月)16時(予定)理工学部1号館玄関前に掲示するとともに、合格者には合格通知書および入学手続書類を送付します。

また、秋田大学ホームページ内「入試情報」に合格者の受験番号を掲載します。

注) 電話等による照会には一切応じません。

8. 編入学試験問題の公表について

前年度問題に限り、希望者に閲覧または郵送を行っています。請求方法は、秋田大学理工学部ホームページ (<https://www.riko.akita-u.ac.jp>) をご覧下さい。

また、学校長経由で申し込まれた場合には過去3年間の問題を郵送します。

Ⅲ 推薦入試（推薦による入学者選抜）

1. 募集コースおよび募集人員ならびに対応学科

学 科	コース	募集人員	3年次編入学対応学科
物 質 科 学 科	材料理工学コース	若干名	材料関連学科
数理・電気電子 情 報 学 科	電気電子工学コース	若干名	電気工学科，電子工学科，電子制御工 学科およびこれらの関連学科
システムデザイン 工 学 科	土木環境工学コース	若干名	土木工学科および関連学科

- 注) 1. 材料理工学コース志願者は，令和2年5月7日(木)までに必ず入試課へ問い合わせてください。
2. 関連学科と判断し難い場合は，令和2年5月7日(木)までに入試課へ問い合わせてください。
3. 出身学校において修得した単位の全部または一部を各コースに設定された授業科目とみなし，卒業要件の単位として認定しますが，認定される単位数によっては2年間で卒業できない場合があります。

2. 出願資格

高等専門学校または（理工科系）短期大学を令和3年3月卒業見込みの者（令和2年度の途中に卒業を認められる者を含む。）で，学業成績・人物ともに優れ，学（校）長が責任をもって推薦できる者

3. 出願手続

(1) 出願書類等

書 類 等	摘 要
①編入学志願票	<ul style="list-style-type: none"> ・本学部所定の〔推薦入試用〕志願票に下記により記入してください。 ・受験番号：記入しないでください。 ・氏名（ふりがな）：楷書で記入し，ふりがなを付けてください。 ・生年月日等：生年月日を記入し，男・女いずれかを○で囲んでください。 ・出願資格：出願資格を記入してください。 ・志望コース：志望するコースを記入してください。 ・本人が諸通知を受ける場所 ：合格通知書等を受ける場所を記入してください。 ・上記以外の連絡先 ：保護者等の住所を記入してください。 ・履 歴 （学 歴）：高等学校・高等専門学校入学以降について記入してください。 （職 歴）：職歴がある場合は記入してください。
②受験票・写真票	<p>本学部所定の用紙に氏名，志望コースを記入し，写真（正面，上半身，脱帽で出願前3か月以内に撮影したもの）を貼ってください。</p>

<p>③検 定 料 ・ 検定料振替払込受付 証明書貼付台紙</p>	<p>検定料は30,000円です。 本学所定の払込取扱票に志願者本人の氏名その他必要事項を記入し、原則として令和2年5月7日(木)以降出願前までにゆうちょ銀行または郵便局の窓口で振り込んでください。(振込手数料は負担願います) ※ATM(現金自動預け払い機)は使用しないでください。 振込の際に受領する「振替払込受付証明書」を台紙にしっかりと貼ってください。台紙には、氏名、志望コースを記入してください。 出願手続完了後は、いかなる理由があっても既納の検定料は返還しません。 ただし、検定料の払込後に出願しなかった場合は、検定料を返還しますので、原則として令和2年5月18日(月)から5月22日(金)までの間に、経理・調達課出納担当(Tel018-889-2234)に申し出てください。</p>
<p>④調 査 書</p>	<p>本学部所定の様式により、在学学(校)長が作成し厳封したもの。 履修中の科目がある場合は、履修中の科目に関する証明書を添付してください。 「成績」および「席次」の欄については、前学年(既卒者の場合は最終学年)における「成績」(例:優, 良, 可)およびクラス等での「席次」(何人中何位)を記入してください。もし、「成績」および「席次」を算出していない場合は、その理由を記入してください。</p>
<p>⑤推 薦 書</p>	<p>本学部所定の様式により、在学学(校)長が記入したもの。</p>
<p>⑥宛 名 票</p>	<p>本学部所定の用紙に所要事項を記入してください。</p>
<p>⑦受験票等送付用封筒</p>	<p>本学部所定の封筒に、受信場所(住所, 氏名, 郵便番号)を明記し、374円分の切手を貼ってください。</p>
<p>⑧在留資格が明記された 住民票</p>	<p>外国人で現に日本に在留している者は、市区町村長が発行する「在留資格が明記された住民票」を提出してください。</p>

(2) 出願方法等

1) 出願書類等受付期間

令和2年5月11日(月)～5月15日(金)16時まで(必着)

2) 出願方法

出願書類等は一括し、本要項に添付の出願用封筒に入れて、原則として郵送により提出してください。

3) 出願書類等提出先および入試に関する照会先

秋田大学入試課

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号

電話: 018-889-2313 E-mail: nyushi@jimu.akita-u.ac.jp

4) 出願にあたっての留意事項

- ①出願書類に不備がある場合は、これを受理しません。
- ②受理した出願書類等の返還および記載事項の変更は認めません。

4. 選抜方法

調査書、推薦書および面接試問の結果を総合して判定します。

5. 面接試問の日程等

(1) 面接試問の日時

令和2年5月25日(月) 13:30～

(2) 試験場

秋田大学理工学部（秋田市手形学園町1番1号）

(3) 受験票の持参・提示

試験当日は、受験票を忘れずに持参し、試験時間中は机の上に置いてください。

受験票が5月21日(木)まで届いていない場合、入試課へ速やかに連絡してください。

6. 合格者の発表

令和2年6月8日(月)16時（予定）理工学部1号館玄関前に掲示するとともに、合格者には合格通知書および入学手続書類を送付します。

また、秋田大学ホームページ内「入試情報」に合格者の受験番号を掲載します。

注) 電話等による照会には一切応じません。

7. 学力検査の受験

合格しなかった者は、一般入試(学力検査等による入学者選抜)に出願することができます。

この場合の出願手続きについては、本募集要項「Ⅱ 一般入試」(2～7ページ)を参照してください。

Ⅳ 社会人特別入試(1年以上勤務経験のある者を対象とした入学者選抜) 趣 旨

日進月歩の科学技術，産業構造・社会経済の変化や我が国の国際社会で果す役割の重要性の進展に伴いリフレッシュ教育への関心が深まっています。この様な社会情勢に呼応し，すでに実社会に出ている社会人・職業人で自己の改革をめざし，より高度の知識・技術を修得しようと志す人を対象に社会人編入学生特別入試を実施して，大学に受け入れ，教育研究の場として門戸を開くことを目的としています。

1. 募集コースおよび募集人員

学 科	コ ー ス	募 集 人 員
物 質 科 学 科	応 用 化 学 コ ー ス	若 干 名
	材 料 理 工 学 コ ー ス	
数 理・電 気 電 子 情 報 学 科	数 理 科 学 コ ー ス	
	電 気 電 子 工 学 コ ー ス	
	人 間 情 報 工 学 コ ー ス	
シ ス テ ム デ ザ イ ン 工 学 科	機 械 工 学 コ ー ス	
	土 木 環 境 工 学 コ ー ス	

注) 出身学校において修得した単位の全部または一部を各コースに設定された授業科目とみなし，卒業要件の単位として認定しますが，認定される単位数によっては2年間で卒業できない場合があります。

2. 出願資格

企業等に正規の職員として1年以上勤務した経験のある者または勤務中の者（令和3年3月末で1年以上となる者を含む）で，かつ次のいずれかに該当する者

- (1) 高等専門学校を卒業した者
- (2) 短期大学（理工科系）を卒業した者
- (3) 大学（理工科系）を卒業した者
- (4) 大学（理工科系）に2年以上在学し，64単位以上を修得した者

3. 出願手続

(1) 出願書類等

書 類 等	摘 要
①編入学志願票	<ul style="list-style-type: none"> ・本学部所定の〔社会人特別入試用〕志願票に下記により記入してください。 ・受験番号：記入しないでください。 ・氏名（ふりがな）：楷書で記入し、ふりがなを付けてください。 ・生年月日等：生年月日を記入し、男・女いずれかを○で囲んでください。 ・出願資格：出願資格を記入してください。 ・志望コース：志望するコースを記入してください。 ・本人が諸通知を受ける場所 ：合格通知書等を受ける場所を記入してください。 ・履 歴 書 （学 歴）：高等学校・高等専門学校入学以降について記入してください。 （職 歴）：職歴をすべて記入してください。
②受験票・写真票	<p>本学部所定の用紙に所要事項を記入し、写真（正面、上半身、脱帽で出願前3か月以内に撮影したもの）を貼ってください。</p>
③検 定 料 ・ 検定料振替払込受付 証明書貼付台紙	<p>検定料は30,000円です。</p> <p>本学所定の払込取扱票に志願者本人の氏名その他必要事項を記入し、原則として令和2年5月25日(月)以降出願前までにゆうちょ銀行または郵便局の窓口で振り込んでください。（振込手数料は負担願います）※ATM（現金自動預け払い機）は使用しないでください。</p> <p>振込の際に受領する「振替払込受付証明書」を台紙にしっかりと貼ってください。台紙には、氏名、志望コースを記入してください。</p> <p>出願手続完了後は、いかなる理由があっても既納の検定料は返還しません。</p> <p>ただし、検定料の払込後に出願しなかった場合は、検定料を返還しますので、令和2年6月15日(月)から6月19日(金)までの間に、経理・調達課出納担当（TEL018-889-2234）に申し出てください。</p>
④卒業証明書	<p>最終学校の卒業証明書を提出してください。</p>
⑤調 査 書	<p>出身学校所定の様式により、出身学（校）長が作成し厳封したもの。</p>
⑥志望理由書	<p>本学部所定の用紙に記入してください。</p>
⑦業務報告書	<p>本学部所定の用紙に業務内容の概要を記入してください。</p>
⑧在職証明書	<p>様式任意。ただし、在職期間が記入されていることが必要です。</p>

⑨宛 名 票	本学部所定の用紙に所要事項を記入してください。
⑩受験票等送付用封筒	本学部所定の封筒に、受信場所（住所、氏名、郵便番号）を明記し、374円分の切手を貼ってください。
⑪在留資格が明記された住民票	外国人で現に日本に在留している者は、市区町村長が発行する「在留資格が明記された住民票」を提出してください。

(2) 出願方法等

1) 出願書類等受付期間

令和2年6月8日(月)～6月12日(金)16時まで(必着)

2) 出願方法

出願書類等は一括し、本要項に添付の出願用封筒に入れて、原則として郵送により提出してください。なお、封筒表面に「社会人編入学願書在中」と朱書きしてください。

3) 出願書類等提出先および入試に関する照会先

秋田大学入試課

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号

電話：018-889-2313 E-mail：nyushi@jimu.akita-u.ac.jp

4) 出願にあたっての留意事項

- ①出願書類に不備がある場合は、これを受理しません。
- ②受理した出願書類等の返還および記載事項の変更は認めません。

4. 選 抜 方 法

書類審査および面接試問の結果を総合して判定します。

面接試問は、業務報告書、志望理由書、基礎学力等について口述試験等を行います。

5. 面接試問の日程等

(1) 面接試問の日時および試験場

志 望 コ ー ス	日 時	試 験 場
応 用 化 学 コ ー ス 材 料 理 工 学 コ ー ス 数 理 科 学 コ ー ス 電 気 電 子 工 学 コ ー ス 人 間 情 報 工 学 コ ー ス 機 械 工 学 コ ー ス 土 木 環 境 工 学 コ ー ス	令和2年6月22日(月) 13:00～	秋田大学理工学部 秋田市手形学園町1番1号

6. 合格者の発表

令和2年7月13日(月)16時(予定)理工学部1号館玄関前に掲示するとともに、合格者には合格通知書および入学手続書類を送付します。

また、秋田大学ホームページ内「入試情報」に合格者の受験番号を掲載します。

注) 電話等による照会には一切応じません。

7. 入学後の取り扱いについて

- (1) 当該所属コースのカリキュラムに従って卒業要件を満たすよう、授業科目・単位を修得しなければなりません。
- (2) 現職のまま入学する者の企業等における身分は、所属する企業等の定めるところによります。

V 共 通 事 項

1. 配慮を必要とする入学志願者の事前相談について

病気・負傷，身体障害および発達障害等の心身の機能の障害（以下，「障害等」という。）により，受験上および修学上の配慮を必要とする可能性のある入学志願者は，出願に先立ち，本学部所定の用紙に必要事項を記入の上，医師の診断書等を添えて，所定の期日までに入試課に相談してください。日常生活においてごく普通に使用している補聴器，松葉杖，車椅子等を使用して受験する場合や期限後に不慮の事故等により，受験上の配慮が必要となった場合には，速やかに相談してください。

また，障害等の程度によっては，事前の準備が必要となる場合がありますので，本学への出願を迷っている場合でもあらかじめ相談いただき，進路決定等により特別措置が不要となった場合には，その旨を入試課までお知らせください。

なお，事前相談の内容等が合否判定のための資料になることはありません。

○相談先 秋田大学入試課

☎ (018) 889-2313 E-mail : nyushi@jimu.akita-u.ac.jp

○事前相談の期限

推薦入試 令和2年5月7日(木)

一般入試および社会人特別入試 令和2年6月2日(火)

2. 入 学 手 続

合格者には入学手続書類を郵送しますので，下記の入学手続期間に入学料を納付するとともに，入学手続書類を郵送により提出してください。

なお，入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は入学を辞退したものと扱われます。

(1) 入学手続期間

①推薦入試合格者

令和2年6月16日(火)～6月19日(金) (必着)

②一般入試および社会人特別入試合格者

令和2年7月21日(火)～7月28日(火) (必着)

(2) 納付金

①入学料 282,000円 (予定額)

②授業料 前期分 267,900円 (年額 535,800円) (予定額)

注) 1. 上記納付金は予定額であり，入学時または在学中に改定された場合には，改定時から新たな納付金額が適用されます。

2. 授業料は，入学後の4月中に納入していただきます。

3. 納付した入学料は，いかなる理由があっても返還しません。

(3) その他

- ① 経済的理由により入学料の納付が困難でかつ学業優秀な者、または特別な事情がある者には、選考の上、全額または半額の免除または徴収猶予が認められる制度があります。詳細は入学手続書類送付時にお知らせします。
- ② 経済的理由により授業料の納付が困難でかつ学業優秀な者、または特別な事情がある者には、選考の上、全額、半額、3分の1の免除または徴収猶予が認められる制度があります。詳細は入学手続書類送付時にお知らせします。
- ③ 編入学を許可された者には、入学後に編入年次までに修得すべき単位を認定します。詳細は入学関係書類送付時に案内します。
- ④ 令和3年3月末までに所定の要件を満たす見込みで受験した合格者が、所定の要件を満たすことができなかった場合は、入学を許可しません。
- ⑤ 出願書類に虚偽の記入をした者は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- ⑥ 入学手続以外の入学関係書類は、令和3年1月下旬（予定）に送付します。

秋田大学理工学部コース案内

1. 募集するコースの構成

学 科	コ ー ス
物 質 科 学 科	応 用 化 学 コ ー ス
	材 料 理 工 学 コ ー ス
数 理 ・ 電 気 電 子 情 報 学 科	数 理 科 学 コ ー ス
	電 気 電 子 工 学 コ ー ス
	人 間 情 報 工 学 コ ー ス
シ ス テ ム デ ザ イ ン 工 学 科	機 械 工 学 コ ー ス
	土 木 環 境 工 学 コ ー ス

2. 学部および募集するコースのアドミッション・ポリシー

【理工学部】

◆育てる人間像

理工学の分野においては、人材育成と研究開発の「リージョナルセンター」として、創造力と技術力を兼ね備えた人材を供給するとともに、イノベーション創出により地域産業に更なる発展をもたらすことが期待されています。理工学部では、自ら課題を発見でき、新しい未知の分野の課題に対しても幅広い視野から、柔軟で総合的な判断で課題を解決していける人材を育成します。

●求める人物像

- ① 理工学を学ぶために必要な基礎学力を身につけた人
- ② エネルギー・環境問題、新しいものづくりと物質・デバイス創成、また少子高齢化や自然災害対策などの大きな社会的課題に関心を持ち、積極的に自己学習できる人
- ③ 研究者や技術者として世界や地域の発展に貢献する意欲を持つ人

応用化学コース

●求める人物像

- ① 化学が好きで、探究心が旺盛な人
- ② 化学的現象の解明や自然と調和した未来物質の開発に興味のある人
- ③ 国際的に活躍する化学技術者・研究者を目指す強い意欲のある人

●入学者選抜の基本方針

《3年次編入学（一般入試）》

理工科系の高等専門学校・短期大学・大学・専修学校の専門課程・高等学校の専攻科の課程を卒業・修了した人またはその見込みの人、大学の理工系学部にて2年以上在学し必要な単位を修得した人またはその見込みの人、または外国において学校教育における14年の課程を修了した人またはその見込みの人で、理学や工学の関連分野におけるさらに高度な専門性を身に付けようとする意欲的な人を求めます。

そのため、学力検査（TOEIC[®]のスコア、数学）および面接（履修した専門科目の基礎の試問を含む）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価し、選抜します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

《3年次編入学（社会人特別入試）》

すでに実社会において、企業等に1年以上勤務経験のある社会人・職業人で、自己の改革をめざし、より高度の知識・技術を修得しようとする人を求めます。

そのため、面接試問（業務報告書、志望理由書、基礎学力等についての口述試験等）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価し、選抜します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

材料理工学コース

●求める人物像

- ① 物理や化学が好きで、探求心が旺盛な人
- ② 金属、半導体、セラミックスを利用した、機械・構造材料、磁性材料、電子・光学材料、センサー材料、環境・新エネルギー材料に興味がある人
- ③ 発展する科学技術の基礎となる様々な材料の研究と開発を行う技術者や研究者を目指す人

●入学者選抜の基本方針

《3年次編入学（推薦入試）》

理工科系の高等専門学校または短期大学を卒業見込みの人で、理学や工学の関連分野におけるさらに高度な専門性を身に付けようとする意欲を持ち、学業成績・人物ともに優れ、学（校）長が責任をもって推薦できる人を求めます。

そのため、推薦書と調査書を参考資料として面接試問を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価し、選抜します。

《3年次編入学（一般入試）》

理工科系の高等専門学校・短期大学・大学・専修学校の専門課程・高等学校の専攻科の課程を卒業・修了した人またはその見込みの人、大学の理工系学部で2年以上在学し必要な単位を修得した人またはその見込みの人、または外国において学校教育における14年の課程を修了した人またはその見込みの人で、理学や工学の関連分野におけるさらに高度な専門性を身に付けようとする意欲的な人を求めます。

そのため、学力検査（TOEIC[®]のスコア、数学）および面接（材料理工学専門の試問を含む）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価し、選抜します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

《3年次編入学（社会人特別入試）》

すでに実社会において、企業等に1年以上勤務経験のある社会人・職業人で、自己の改革をめざし、より高度の知識・技術を修得しようとする人を求めます。

そのため、面接試問（業務報告書、志望理由書、基礎学力等についての口述試験等）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価し、選抜します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

数理科学コース

●求める人物像

- ① 数学、物理学、計算機科学に興味を持ち深く学んでみたい人
- ② 論理的かつ客観的な視点で粘り強く考えることが好きな人
- ③ 自然の原理や仕組みについて考えたり話したりすることを楽しく感じる人

●入学者選抜の基本方針

《3年次編入学（一般入試）》

理工科系または数理科学の応用系の高等専門学校・短期大学・大学・専修学校の専門課程・高等学校の専攻科の課程を卒業・修了した人またはその見込みの人、大学の理工系学部または数理科学の応用を行う学部学科等に2年以上在学し必要な単位を修得した人またはその見込みの人、または外国において学校教育における14年の課程を修了した人またはその見込みの人で、数理科学の関連分野におけるさらに高度な専門性を身に付けようとする意欲的な人を求めます。

そのため、学力検査（TOEIC[®]のスコア、数学）および面接（数理科学専門の試問を含む）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価し、選抜します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

《3年次編入学（社会人特別入試）》

すでに実社会において、企業等に1年以上勤務経験のある社会人・職業人で、自己の改革をめざし、より高度の知識・技術を修得しようとする人を求めます。

そのため、面接試問（業務報告書、志望理由書、基礎学力等についての口述試験等）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価し、選抜します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

電気電子工学コース

●求める人物像

- ① 数学や物理が好きで、ものやシステムの原理や仕組みを論理的に思考・理解しようとする人
- ② 環境に調和した電気エネルギー、創意や工夫にあふれる光・電子デバイス、人にやさしく知的な情報通信や医療機器、社会の基盤を支えるコンピュータや制御システムなどに興味のある人
- ③ 創造性を発揮して国際的に活躍する最先端のエレクトロニクス技術者や研究者を目指す意欲のある人

●入学者選抜の基本方針

《3年次編入学（推薦入試）》

理工科系の高等専門学校または短期大学を卒業見込みの人で、理学や工学の関連分野におけるさらに高度な専門性を身に付けようとする意欲を持ち、学業成績・人物ともに優れ、学（校）長が責任をもって推薦できる人を求めます。

そのため、推薦書と調査書を参考資料として面接試問を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価し、選抜します。

《3年次編入学（一般入試）》

理工科系の高等専門学校・短期大学・大学・専修学校の専門課程・高等学校の専攻科の

課程を卒業・修了した人またはその見込みの人、大学の理工系学部で2年以上在学し必要な単位を修得した人またはその見込みの人、または外国において学校教育における14年の課程を修了した人またはその見込みの人で、理学や工学の関連分野におけるさらに高度な専門性を身に付けようとする意欲的な人を求めます。

そのため、学力検査（TOEIC[®]のスコア、数学）および面接（電気電子工学の専門教育科目の基礎の試問を含む）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価し、選抜します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

《3年次編入学（社会人特別入試）》

すでに実社会において、企業等に1年以上勤務経験のある社会人・職業人で、自己の改革をめざし、より高度の知識・技術を修得しようとする人を求めます。

そのため、面接試問（業務報告書、志望理由書、基礎学力等についての口述試験等）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価し、選抜します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

人間情報工学コース

●求める人物像

- ① 感性が豊かで、論理的思考に習熟し、対象を広く、また深く理解しようとする人
- ② ヒトとコンピュータとの調和に配慮した高度な情報通信技術（ICT）に興味がある人
- ③ 日進月歩の高度情報化社会に貢献する技術者や研究者を目指す意欲のある人

●入学者選抜の基本方針

《3年次編入学（一般入試）》

理工科系の高等専門学校・短期大学・大学・専修学校の専門課程・高等学校の専攻科の課程を卒業・修了した人またはその見込みの人、大学の理工系学部で2年以上在学し必要な単位を修得した人またはその見込みの人、または外国において学校教育における14年の課程を修了した人またはその見込みの人で、理学や工学の関連分野におけるさらに高度な専門性を身に付けようとする意欲的な人を求めます。

そのため、学力検査（TOEIC[®]のスコア、数学）および面接（人間情報工学専門の試問を含む）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価し、選抜します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

《3年次編入学（社会人特別入試）》

すでに実社会において、企業等に1年以上勤務経験のある社会人・職業人で、自己の改革をめざし、より高度の知識・技術を修得しようとする人を求めます。

そのため、面接試問（業務報告書、志望理由書、基礎学力等についての口述試験等）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価し、選抜します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

機械工学コース

●求める人物像

- ① 数学や物理が好きで学習意欲があり，工学の基礎学力を高めたい人
- ② 設計，力学，制御を学び，ものづくりによりエンジニアの素養を得たい人
- ③ 持続的社會形成の必要性を理解し，創造的な機械開発にチャレンジしたい人

●入学者選抜の基本方針

《3年次編入学（一般入試）》

理工科系の高等専門学校・短期大学・大学・専修学校の専門課程・高等学校の専攻科の課程を卒業・修了した人またはその見込みの人，大学の理工系学部にて2年以上在学し必要な単位を修得した人またはその見込みの人，または外国において学校教育における14年の課程を修了した人またはその見込みの人で，理学や工学の関連分野におけるさらに高度な専門性を身に付けようとする意欲的な人を求めます。

そのため，学力検査（TOEIC[®]のスコア，数学）および面接（機械工学の専門教育科目の基礎の試問を含む）を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価し，選抜します。なお，提出書類を面接の参考資料とします。

《3年次編入学（社会人特別入試）》

すでに実社会において，企業等に1年以上勤務経験のある社会人・職業人で，自己の改革をめざし，より高度の知識・技術を修得しようとする人を求めます。

そのため，面接試問（業務報告書，志望理由書，基礎学力等についての口述試験等）を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価し，選抜します。なお，提出書類を面接の参考資料とします。

土木環境工学コース

●求める人物像

- ① 数学や物理などの自然科学の知識を社会基盤の整備と発展に活かしたい人
- ② すべての人が安心して生活できる社会基盤をつくるには，どうすればよいのかに興味がある人
- ③ 自然環境と人間環境が調和した社会基盤の整備と発展に役立ちたい人

●入学者選抜の基本方針

《3年次編入学（推薦入試）》

理工科系の高等専門学校または短期大学を卒業見込みの人で，理学や工学の関連分野におけるさらに高度な専門性を身に付けようとする意欲を持ち，学業成績・人物ともに優れ，学（校）長が責任をもって推薦できる人を求めます。

そのため，推薦書と調査書を参考資料として面接試問を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価し，選抜します。

《3年次編入学（一般入試）》

理工科系の高等専門学校・短期大学・大学・専修学校の専門課程・高等学校の専攻科の課程を卒業・修了した人またはその見込みの人，大学の理工系学部で2年以上在学し必要な単位を修得した人またはその見込みの人，または外国において学校教育における14年の課程を修了した人またはその見込みの人で，理学や工学の関連分野におけるさらに高度な専門性を身に付けようとする意欲的な人を求めます。

そのため，学力検査（TOEIC[®]のスコア，数学）および面接（土木環境工学に関する基礎の試問を含む）を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価し，選抜します。なお，提出書類を面接の参考資料とします。

《3年次編入学（社会人特別入試）》

すでに実社会において，企業等に1年以上勤務経験のある社会人・職業人で，自己の改革をめざし，より高度の知識・技術を修得しようとする人を求めます。

そのため，面接試問（業務報告書，志望理由書，基礎学力等についての口述試験等）を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価し，選抜します。なお，提出書類を面接の参考資料とします。

3. 理工学部4年間のカリキュラムの流れ

		教養教育科目				基礎教育科目	専門教育科目（コース毎代表的科目）
1 年次	前期	主題別科目 選択	国際言語科目 英独仏露中朝から選択	スポーツ文化科目	初年次ゼミ	基礎数学Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ 入門物理学, 入門化学 基礎物理学Ⅰ 基礎物理学実験 基礎化学Ⅰ, Ⅱ 基礎化学実験 情報処理の技法	(応) 物理化学, 有機化学など (材) 材料物理学 (数) 集合と倫理, プログラミング実習Ⅰなど (電) 電気回路学, 計算機プログラミングなど (人) 情報工学入門, プログラミング実習Ⅰなど (機) 入門機械製作, メカニズムなど (土) 社会資本整備の歴史
	後期						
2 年次	前期	○現代社会 ○生活と保健	基礎数学Ⅴ 基礎物理学Ⅱ, Ⅲ 基礎化学Ⅲなど			(応) 分析化学, 反応工学, 実験など (材) セラミック材料学, 金属材料学など (数) 代数学Ⅰ, 幾何学Ⅰ, 解析学Ⅰ, 計算論Ⅰなど (電) 電子物性工学, 実験など (人) プログラミング言語, HCIなど (機) 材料力学Ⅰ, 熱力学など (土) 水理学, 都市システム計画など	学部共通科目 鉱業史 テクニカル コミュニケーション インターンシップ
	後期						
3 年次	前期	○人間と文化 ○地域社会				(応) 無機プロセス化学, 高分子化学, エネルギー化学工学など (材) 機能材料学, 計算材料科学, エネルギー変換材料学など (数) 量子力学Ⅰ, Ⅱ, 複素解析, 数学セミナー, 理論物理学セミナーなど (電) 電力システム工学, 半導体デバイス工学, 情報通信工学, 実験など (人) 情報ネットワーク学, 情報理論と符号理論, 応用生体計測など (機) 機械設計学, ロボット工学, 医用生体工学など (土) 交通施設工学, コンクリート構造工学, 土木環境工学実験など	
	後期						
4 年次	前期	○科学の探究 ○技能の活用	講義の他	研究プロポーザル 外国文献講読 卒業課題研究			
	後期						

(応)は応用化学コース、(材)は材料理工学コース、(数)は数理科学コース、(電)は電気電子工学コース、(人)は人間情報工学コース、(機)は機械工学コース、(土)は土木環境工学コースにおいてそれぞれ代表する科目であることを表す。

教養教育科目は、幅広い知識と教養や総合的に考える力を身につけるように計画されています。

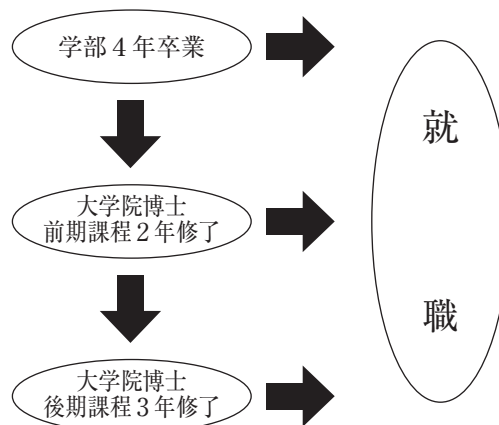
基礎教育科目は、専門教育科目を履修するための基礎として必要なものです。

専門教育科目は、高度な専門学力を養うためのものです。学科によって運営されていますが、他学科科目を8単位まで取得できます。

進級や卒業に必ず履修しなければならない「必修科目」、一定の授業科目から選択して履修しなければならない「選択（必修）科目」、および開設される授業科目から自由に選択する「自由科目」から成っています。なお、卒業に必要な総単位数は124単位以上です。

講義時間は1週1回90分を15回行って2単位となっています。

カリキュラム改正により、履修科目が一部変更となる場合があります。



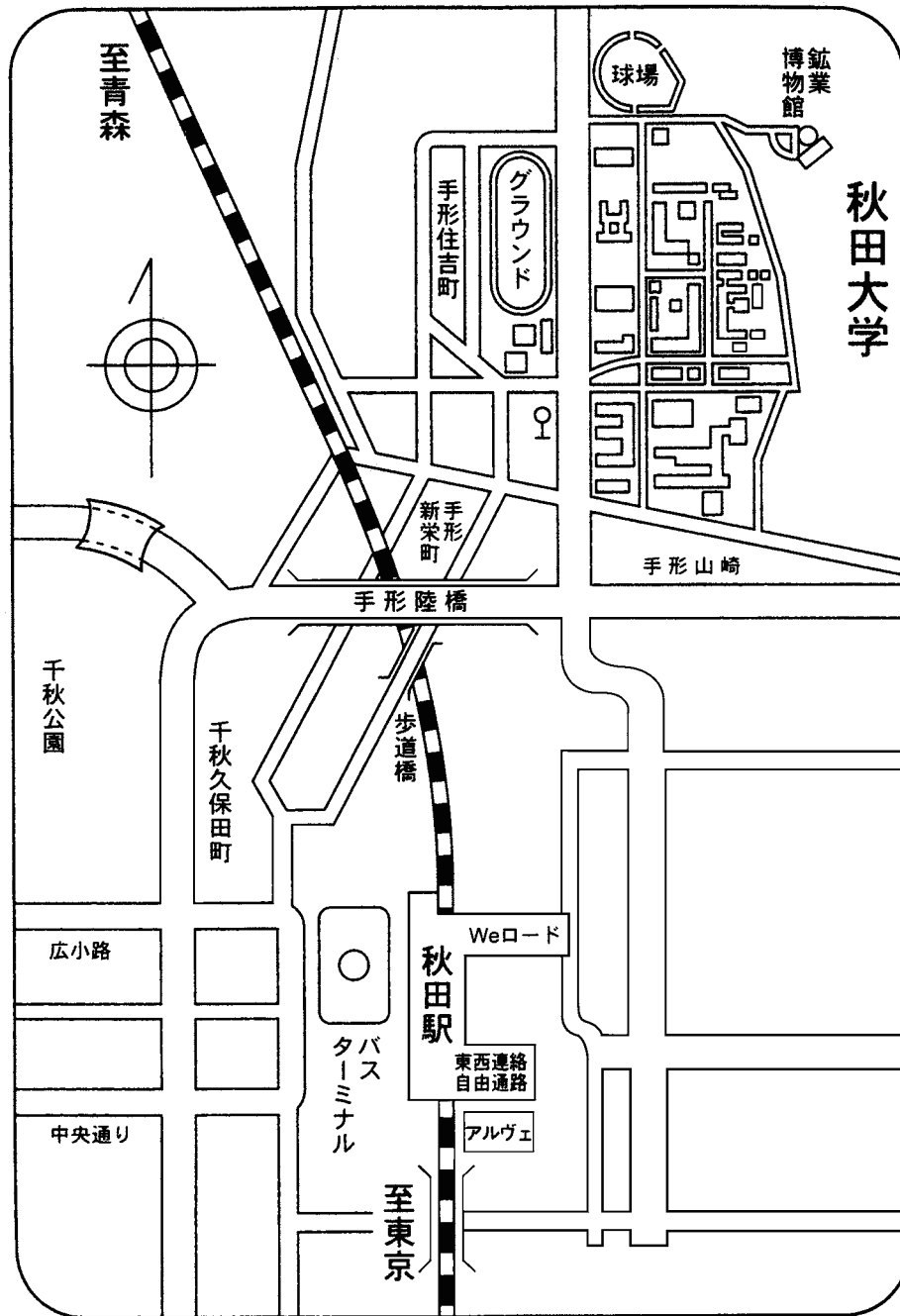
4. 課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

理工学部では、ディプロマ・ポリシーを達成するため、次のような方針に基づいて教育課程を構成します。

教育課程編成方針

1. 数学や理科などの理工学基礎を確実に理解させる教育を行う。
2. 応用力や創造性を重視した専門教育を行う。
3. 社会における科学技術の役割，技術者の責任と倫理を理解させる教育を行う。
4. 国際性を培う専門教育を行う。
5. 地域の自然，社会，産業，文化に関する知識の理解を深める教育を行う。
6. デザイン能力とプロポーザル能力を養成するカリキュラムを構成する。
7. 情報通信技術（ICT）を用いた情報活用能力を養成するカリキュラムを構成する。
8. 職業意識を高める実践的なキャリア教育を行う。

秋田大学工学部 案内図



- 秋田駅前（西口）バスのりば12番から
秋田中央交通バス手形山大学病院線
秋田大学前下車・徒歩約1分
- 秋田駅東口から秋田大学まで
徒歩約15分（約1,300m）